

基本構想 施策の大綱(たたき台)係るご意見ご提案に対する考え方(案)

	内容区分	ご意見・ご提案の内容	ご提案・ご意見に対する事務局案
1	全体	市民がもう少し頑張ろうという気になる言葉にしてほしい。	作業部会員の皆さんのご意見をお聴きしながら詰めていきたい。
2	大タイトル	ワークショップでは自然環境にしても、ごみ問題にしても、人が創り出すという視点が出たわけで、その視点を入れるべきでないか。人が創り出す環境と共生・調和するまちとするべき段階にきていると思う。	大項目のタイトルについては他の作業部会でも同様のご意見がアルトと同時に、他の作業部会との整合を図る必要があるため、現時点では現状のままとし、作業部会員の皆さんのご意見をお聴きしながら、詰めていきたい。
3	大タイトル	内容に近いほど良い。	
4	大タイトル	基本的な考え方が示されているべきである。	
5	大タイトル	方向性として豊かな自然環境が先にくるのは同感できる。	
6	大タイトル	市民の意識調査等からごみ対策等の生活環境を大事にする視点があるので活かすべきでないか。	
7	大タイトル	「豊かな自然環境と調和した快適に暮らせる文化のかおるまち」はどうか。	まちづくりの方向性の中に示しているため、現状のままとしたい。
8	大タイトル	利便性や効率性等を追求した結果、今日の環境問題が発生しており、今後もこの動きは止まらない中、あえて「快適に」という言葉を使う必要はなく、「こちよく」や「やすらぎのあるまち」にしてはどうか。	
9	大タイトル	ワークショップでは長野らしさが無いという話が多くあったので、大項目のタイトルは言い尽くされた言葉でもあり、長野らしい自然環境を大項目のタイトルに入れたらどうか。	
10	全体	市民・事業者・行政のパートナーシップはあらゆる面で必要である。	

内容区分		ご意見・ご提案の内容	ご提案・ご意見に対する事務局案
11	1中タイトル	タイトルは市民が見た時に、何をしなければいけないのかを表すべきものであって、危ないんだというニュアンスを入れるべきでないか。	危機的な状況であることや積極的な取組が必要であることを訴えるために、1のタイトルは「貴重な自然環境の保全と創造」なお、復元は創造に含むものとし、施策の大綱素案や基本計画を策定していく中で具体的に表現していきたいと考えている。また、1の内容も併せて「自然環境の保全と創造や豊かな生態系の維持」に修正したい。
12	1中タイトル	自然環境に関する内容は、1の「恵み豊かな自然環境の保全」の部分だけであり、他の中項目にないのだから、あまりにもお気楽のように感じる。保全というだけでなく、周りを観ていると復元が必要という状況もあるので、復元にまで踏み込めないか。	
13	1中タイトル	緑化の面から言えば、里山の自然から学ぶことが多いので、1のタイトルは「自然に学ぶ自然環境の創造」ではどうか。	
14	1中タイトル	豊かな自然環境の復元と創造としたら、造っていかねばいけないとか、努力していかねばという感じが出せると思う。	
15	1中タイトル	原生自然もあるわけで、1の「保全」はそのまま残してほしい。	
16	1中タイトル	「恵み豊かな自然環境の保全と創造」にしたらどうか。	
17	1中内容	1の内容には、ワークショップで三面コンクリートの問題や暗渠の見直しが挙げられていたので、「河川環境の復元」を入れたい。	自然環境の保全と創造や生態系の維持につながるものと考え、1の基本計画に向けた要素の中に入れたい。
18	2中内容	2のタイトルは問題ないが、内容には自然エネルギーや新エネルギーだけでなく、省エネルギーは少しの取組でも大きな効果が出ることでもあるので盛り込み、「省エネを進め、自然エネルギーや新エネルギーに取り組む」としてはどうか。	「省エネルギーの促進を図るとともに自然エネルギーや新エネルギーの活用による、自然環境と共生する都市の実現」としたい。
19	2中内容	「化石燃料の使用を抑える」を入れてほしい。	エネルギー問題のひとつであることから、2の基本計画に向けた要素の中に入れたい。

内容区分		ご意見・ご提案の内容	ご提案・ご意見に対する事務局案
20	2 その他	農産品や森林資源の地域内循環（地産地消）を入れてほしい。	産業分野では、農林業の振興について「森林資源の保全と市民に身近な森林づくりの推進」が中項目の内容に掲げられており、環境部会ではワークショップでも出されていた里山について掲げてほしいという意見があったので、1の基本計画に向けた要素に「里山の整備」を追加したい。
21	2 その他	ごみの不法投棄は陶器ガラス類や金属類の不燃物が多く、破砕して再利用するべき。	事務事業の提案であると思われるので、提案として承りたい。
22	2 その他	支所等の空間を一部借用してごみステーションを設置し、いつでも利用できる体制を整備してごみ収集システムの多元化を図るべき。	
23	2 その他	高齢者等の利便性を確保することを目的に費用を実費負担のおでかけごみ収集をしたらどうか。	
24	2 その他	官庁調達品のグリーン化、民間企業におけるグリーン化の支援及び大規模緑地の整備を図り、グリーン化を推進してほしい。	
25	3 中内容	3の内容の居住環境の整備については、都市は人がいて都市であり、コンパクトシティも人があってのものだから、ワークショップにも出てきていた地域のコミュニティや人のつながりを入れたらどうか。段差解消等のハードではなく、ソフトの面で書けないか。	第三次総合計画では第2章（環境）に位置付けられていることから掲げたものであるが、環境部会において議論するより、福祉や都市整備・土地利用作業部会で考えていただくべき項目と考え、福祉や都市整備・土地利用作業部会へ提案していきたい。
26	3 中内容	居住環境については福祉部会か都市整備部会をお願いしたい。入れるなら、環境らしい言葉で入れるべき。	
27	3 中内容	全戸水洗化を目指した公共下水道等の普及は、わざわざ掲げなくてもやることであり、安全でおいしい水の安定的供給は、うっかりするとやらない可能性があるのでは、載せるのであれば安全でおいしい水の安定的供給を箇条書きの中に盛り込んでほしい。	水質の保全の視点から「全戸水洗化を目指した公共下水道等の整備」と掲げたものであるが、安全でおいしい水の安定的供給も大切な視点であることから、3の内容を「安全でおいしい水の安定的供給と全戸水洗化を目指した公共下水道等の普及」としたい。
28	3 中内容	おいしい水が枯れないような自然環境の保全（水源の涵養）の面やろ過式等のおいしい水の作り方の方から、安全でおいしい水の安定的供給を箇条書きの中に盛り込んでほしい。	
29	3 中内容	水道等の公共事業はここではないのではないか。	水質の保全の視点から「全戸水洗化を目指した公共下水道等の整備」と掲げたものであり、現時点では、現状のままとしたい。
30	3 その他	高齢化社会の到来とともに団地等において、無人化や高齢者の一人暮らしが目立ち始めており、数年後には全市への拡大が予想できるため、地域コミュニティを再構築し、荒廃を防止すべきである。	コミュニティの再構築については、他の作業部会で議論を重ねているところである。

内容区分		ご意見・ご提案の内容	ご提案・ご意見に対する事務局案
31	3 その他	自家用車の使用を控え、徒歩や自転車を使用することにより、化石燃料の使用が減り、空気の汚染が減るので、自転車や人が安心して通行できる道の確保を追加してほしい。	環境作業部会においては化石燃料の使用抑制について記載し、歩道や車道については、他の作業部会で議論しているところである。
32	3 その他	歩道（自転車道）の整備が必要	事務事業の提案であると思われるので、提案として承りたい。
33	3 その他	駐車場・駐輪場の展開	
34	3 その他	居住環境の整備にはブロック塀から垣根、竹垣、木塀への移行を進めると同時に宅地の緑化促進のために花と緑の庭の開放と表彰を行ったらどうか。	
35	4 中タイトル	「長野らしい景観の形成」に変えられないか。	ワークショップにおいて「長野らしさ」というキーワードが出てきていたが、他分野においても同様の状況にあり、重複することを考えた結果、「潤いと個性ある調和のとれた」という表現にしたため、現状のままとしたい。
36	4 中内容	花いっぱい運動をやっているので、花と緑のまちづくりを盛り込んだらどうか。	緑化空間の創造の中に含むのもと考えており、現状のままとしたい。
37	4 中内容	4の要素に「潤いある花と緑の沿道空間の充実」を追加したい。	事務事業の提案であると思われるので、提案として承りたい。
38	4 中内容	「自然環境や風土と調和した緑化空間の創造」を緑化に限定せず、河川・農地・森林・道路（歩道）を含めるべき。	「自然環境や風土と調和した緑化・親水空間の創造」は、河川・農地・森林・道路（歩道）を含めた意味合いで掲げたものであり、現状のままとしたい。
39	4 中内容	「伝統的な景観（文化環境）の形成」を追加したい。	「伝統的な景観の形成」を歴史ある街並みの保全と併記して、4の基本計画に向けた要素の中に入れてたい。
40	4 その他	「伝統的な景観（文化環境）の形成」の要素としては、歴史ある街並みの保全、伝統的建造物や庭等の保全、里山の保全と持続可能な利用、あるいは鎮守の森等の保全として掲げたらどうか。	
41	全体その他	4つのくくり以外に高齢者や障害者を地域社会やコミュニティで支える視点や、高齢者が子どもに教える等の地域での環境教育や地域社会が担う環境問題の視点で書けたら、期待するところ大という感じがする。	高齢者や障害者を地域社会やコミュニティで支える視点については、福祉作業部会で議論していただいているところである。また、環境作業部会においては、地域と環境を結ぶ視点が環境分野で共通の視点であることから、環境学習や環境教育を地域や家庭での位置付けとして捉える必要があると考え、施策の視点に「家庭や地域における環境に対する取組の推進」を追加し、1の内容を「家庭や地域における環境教育や環境学習の充実による、環境問題に対する意識の高揚」に訂正するとともに、1の基本計画に向けた要素を世代間の交流による教育や学習の意味を含めた「家庭や地域における環境教育と環境学習の推進」としたい。